

を実感できるために、手取り収入を増やす施策は有効であると認識している。現在、国で「103万円の壁」の見直し議論をしており、基礎控除額の引き上げ等が実現した場合には、若者世代や働き世代、中間層も含め幅広く減税の効果が及び、手取り収入の増加が想定される。

一方、地方税の大幅な減収が懸念されるため、制度設計等も含め、国の動向を注視していく。

不正への責任ある対策を求める

【問】レシートde商品券事業では、捨てられているレシートを拾っての応募やレシートの転売が可能となっている。不正が起らないように具体的な対策を取ることが行政の責務であるが、その対策を伺う。

【産業経済】 完全な防衛策はないが、申請者自身で買入物をしりて応募するという趣旨をわかりやすくPRし、不正な申請について申請書やホームページ等で強く注意喚起していく。

子どもたちへ経験・学びの充実を

【問】現代の子どもは「火」に触れ合い、知る機会が減っている。火への理解を深め、正しく使えるようになることは子どもの自信や忍耐強さ等も養えるため、「火育」を自然体験の授業として取り入れてみてはどうか。

【教育指導】 小学校の理科の燃焼の仕組みや家庭科の調理学習の中で、直に火を目の当たりにし、扱い方を学んでいる。

また、鋸南や日光での自然教室では、キャンプファイヤーを経験し、自然の中で学びを深めると共に児童同士の交流を深めている。引き続き、児童・生徒

の体験を大切にしたい学びの推進を図るよう学校に指導していく。



身近な人の大切さを学ぶために

【問】子どもが「人生の選択とお金」について実践的に学ぶプログラムについて、

若い世代の声や想いを政策に反映させよう

是々非々の会 富田けんたろう 議員



子どもたちの夢の実現に向けて、

【問】アダチ若者会議において、高校生世代から「コロナ禍で失われた職場体験の機会を取り戻したい」との声が複数あった。近隣自治体とも連携し、職場体験の受け入れ可能な企業等を開拓・リスト化すべきではないか。

【未来】区として具体的な体験内容の把握や受け入れ企業等の体系的な整理、集約を行っていないのが現状である。

区内高校に対して、区にどのような取り組みを望むのかをヒアリングしており、その結果を踏まえて具体的な連携や共有する項目を見定めていく。

投票したくなるきつかけづくりを

【問】先の衆議院議員選挙において、足立区は東京23区中最低の投票率であった。投票率向上を図るために、現在の無機質な投票済証のデザインについて、

仮想の家族を体験しながらお金について学ぶことで家族のありがたさに気づき、感謝につながっていると聞いた。金融リテラシーだけではなく、家族の大切さを学ぶことができる授業であると感じたが、見解を伺う。

【教育長】授業後のアンケートで「自分がもらっているお金は、お父さんやお母さんががんばって働いたお金なので、大切に使います」との感想等があり、家族の大切さについても考えさせるきっかけになったと考えている。



また、デザイン等を見直す予定はあるのか伺う。

【総務】当区では、都が作成した投票済証を使用しているが、特に18歳や19歳の区民に対し区独自の「初投票記念証書」を作成し、投票率向上を図っている。今後は、区内大学との連携や千住宿開宿400年ロゴの活用、工夫をしている自治体の例を参考に、SNS等で話題に上がるような若年層向けの「初投票記念証書」を調査、研究していく。



都民ファースト・無所属の会

安全・共生・健康でつなぐ

誰もが暮らしやすい足立へ

都ファ・無所属 佐藤 あい 議員



自転車の正しい運転を促すために

【問】区内における令和5年中の交通事故件数の内、自転車による交通事故の割合が最も高い。特に交差点での自転車による正しい横断方法が十分に浸透していないため、自転車ナビラインの表示を推進すべきではないか。

【都市建設】令和6年度策定の足立区自転車活用推進計画に基づき、警視庁と協議の上、自転車専用通行帯の整備と併せて自転車ナビラインを設置していく。



未来を想像できる情報の提供を

【問】不登校児童・生徒の保護者から、担当の相談員等によって情報提供に差があるという声がある。多様な学び方や進路情報を均質化し、保護者が将来を見通すことができる支援体制を構築すべきではないか。

【教育指導】関係機関との連携強化に加え、研修等による担当者間の情報共有に努め、保護者が将来を見通すことができる情報を提供できるよう、支援体制

足立区議会議会改革を全力で押し進める会

中央本町の街づくりを前へ

子どもの成長を支える支援を

議会改革推進 土屋 のりこ 議員



子育てしやすい地域とするために

【問】中央本町には、にぎわい施設や子育てサロンはなく、公園の一部は老朽化している等、課題が山積しており、生活者を中心とする街の在り方の検討が必要であると考えている。

【区長】新たな住民を交えた地域コミュニティの育成や住民の視点を立ったまちづくりは、非常に重要であると考えている。中央本町は区内の一般的な地域と比較して、商業施設や交通手段等は整っている認識である。子育ての拠点となるサロンや公園の整備は充実していないとの指摘があるため、担当所管と方向性について検討し、地域住民の要望に応えられるまちづくりを展開したいと考えている。

【問】キャッシュレス決済還元事業について、一部の高齢者から「キャッシュレス決済は使えないし蚊帳の外だ」との声がある。高齢者向けの物価高騰対策として、食材の購入に使用できる紙のクーポンや商品券等を配布すべきではないか。

【産業経済】紙のクーポンや商品券の配布はしないが、高齢者



海外への窓口となる施設整備を

【問】ベルモント公園・陳列館について、「英語でサンタクロースと遊ぼう」や「イングリッシュ・リトミック」等、乳幼児から高校生まで世界と触れ合うことができる体験・経験を行える施設へと改修してはどうか。

【道路公園】令和9年度に予定の大規模改修にあたって、まずは活用の在り方を観光交流協会と協議し、現状より充実した活用ができるよう進めていく。